

令和7年度 保護者アンケート (12月実施)

回答データ 97人/218人 (44.5%)

垣花小学校

評価項目	A よくあてはまる	B あてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない
1 子どもは、進んであいさつをしている。	34	48	14	3
2 子どもは、学校へ行くのが「楽しい」と言っている。	61	31	6	2
3 子どもは、「授業がわかりやすい」と言っている。	42	49	7	1
④ 子どもは、「です」「ます」等のていねいな言葉づかいをしている。	19	46	30	5
⑤ 子どもは、家庭学習・自主学習をしている。	42	34	23	1
⑥ 学校は、学習のきまり(聞く態度・姿勢・学習用具の準備等)の指導を行っている。	59	40		10
7 学校は、校内の様子や学習状況等についてお知らせしている。(公文・スクリーン・HP等)	69	29		20
8 学校は、子どものことについて、適切に相談に応じている。	57	41		20
⑨ 学校は、子どもの努力を認め、よいことをほめている。	64	35		10
10 学校は、子どもの発表の場や活躍の場を積極的につくっている。	51	46		30
11 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	47	49		22
⑩ 学校は、事故の防止や避難の仕方等の安全対策を行っている。	60	39		10
⑬ 学校は、学習環境(施設・設備・緑化等)が整っている。	53	47		00
⑭ 学校は、マナーやルール等の規範意識を守る態度を育てる取り組みを行っている。	48	52		00
15 家庭では、子どもの将来の「夢」や「進路」について話している。	48	37	13	1
16 家庭では、望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の定着を行っている。	46	44	9	0
⑰ 家庭では、家庭学習・自主学習の時間を設定し、学習のチェック(サイン等)をしている。	42	38	16	3
⑱ 地域の行事やPTA活動等に進んで参加している。	20	38	32	10

〈考察〉 ※ 四捨五入しての数値のため、合計100%にならない項目あり

○ 2,3,6~14と16は、AB判定(肯定的な回答)合計が90%を超えている。

○ 肯定的判定(AB合計)で最も高いのは、13「学習環境整備」と14「規範意識の醸成」で、100%である。

→ **学習環境整備や規範意識の醸成への取り組みが、保護者みんなから認められている。**

● CD判定(否定的回答)で最も高いのは、18「PTA活動への参加」で、44%で約半数となっている。

→ **働き方改革等を取り入れる中で、行事や活動の簡素化から来る課題の一つである。**

● 次にCD判定が高いのは、4「ていねいな言葉遣い」で34%になっている。

→ **学校だけでなく、家庭や地域等においても、ていねいな言葉遣いについてくり返し意識つけていかなければならない。**

